

9月 月例研修会

「高野山 町石道を歩く。(後半)」

- ・日 程 ; 9月25日(金) 曇り
- ・参加者 ; 9名(男性6名 女性3名)
- ・コース ; 高野山駅 - バス - 根本大塔—大門—矢立—二つ鳥居—古峠—上古沢駅
- ・担 当 ; 境 寺田

◆昨年、南海電鉄「九度山駅」から「慈尊院」、「丹生都比売神社」「古峠」を経て「上古沢駅」まで歩いた後半ルート。今年は、距離は若干長いが下り道ということで「高野山頂」から「上古沢駅」まで逆に歩く距離約11km、実歩行時間約4時間半のコース。

◆数日前からの雨予報で、参加者数が心配されたが9名の方々元気よく「南海なんば駅」に集合。「高野山駅」からバスで、スタート地点のバス停「金堂前」(「根本大塔」・「檀上伽藍」前)到着は10時過ぎ。30分程休憩・参拝後出発。すぐに「町石一番」と看板のかかる「町石」(鎌倉時代に建てられたと云われる高さ3mを超す五輪塔系の石柱の道しるべ)がある。全道180基ある最初の「町石」である。ほどなく高野山の入り口となる「大門」に着く。「大門」左右には、運長作の重要文化財の「金剛力士像」がにらみを利かせている。この像の前で昼食。記念撮影。



高野山大門金剛力士像阿

◆この「大門」の前から、いよいよ「町石道」の山道に入る。ほぼ平坦な樹林中の曲線の一本道を歩く。番号の付く



苔むした「町石」が100m位の間隔で立ち、数えながら進む。大木もそこそこに見られ、俊敏な動きのイワナと思われる魚がかすめる清流の脇を歩く。「鏡石」「押上石」「袈裟掛石」「六地藏」「白蛇の岩」など高野山参拝道らしい遺跡が続く。南海線「紀伊細川駅」に出られる「矢立」の茶店で休憩。雲は厚くあたりは暗いが、天気は持ちそう。皆歩行速度は落ちないでひたすら歩く。ようやく昨年来た「古峠」手前の珍しい「二つ鳥居」のある展望台あずまやに到着。



ここまで4時間強歩き、さすがに皆「歩いた！」という実感。しばし休憩後、分岐点の「古峠」から「上古沢駅」へ向かう下りを行く。里近くなってコンクリート道の急坂があり、雨で濡れていることもあり、「ここが一番気を遣った。」という人が多かった。駅が見える自動車道路に出てホッと一息。ただここは谷状になっていて目指す駅は見上げる高さ。去年同様今年もこの最後の十数分の上りが大変印象的であった。

◆ようやく駅に着いて、「歩き通した」という達成感もあり皆満足げであった。南海難波駅の地下街で、途中下車などをしたお二人を除き、生ジョッキで乾杯。リーダーの境さん「皆健脚だなー」。境リーダー有難うございました。

(寺田 孝)